

音声読み上げ

【資源ごみの分類について】

平成29年度から20品目になります！

分別するごみは次のとおりです（平成29年4月1日～）

生きビン（リユースビン）	蛍光管・電球類	雑誌・その他紙類	生ごみ
雑ビン（透明）	乾電池類	段ボール	燃やすもの
雑ビン（茶色）	電気コード類	布類(衣類)	
雑ビン（その他色）	ペットボトル	容器包装プラスチック	
アルミ缶	小型家電（17品目）	食用油	
スチール缶	新聞紙・チラシ類	粗大ごみ・破碎・埋立	

本市の高度分別が平成5年に開始されてから20年以上経過しておりますが、地域の小さなお子さんから

ご高齢の皆さんが、日常生活の中で、肩に力を入れずに、当たり前分別活動に継続して取り組んでいただいているところが水俣のすばらしさです。

今年度も引き続き、資源ごみに限らず燃やすごみ、生ごみについても適正な分別にご協力いただきますようお願いいたします。



家庭ごみの分け方・出し方

[▶ 平成30年度家庭ごみの分け方・出し方（PDF 25MB）](#)

平成30年度からの主な変更点について

平成30年6月から家庭ごみの分け方・出し方において、以下の6つの点が変更になります。

- ・スプレー缶（エアゾール缶）を出すときに、穴をあけずに出していただきます。
 - ・電気コードを出すときに、プラグの部分を切らずに出していただきます。
 - ・飲料パックを資源ごみの日に出せるようになります。
 - ・蛍光灯等の水銀が使用された廃製品の回収ボックスが変わります。
 - ・プラスチック製容器包装（廃プラ）ステーションが可燃ごみステーションと統合されます。
- ※一部ステーションを除く
- ・10区～14区、24区～26区の生ごみの分別収集を開始します。

変更点の詳細については[こちら](#)→平成30年度変更点（PDF 1.1MB）



お問合せ先

水俣市 環境課 環境クリーンセンター
電話番号 0966-62-4101

掲載事項・業務内容に関するお問い合わせは、各担当課へお尋ねください。
水俣市役所 〒867-8555 熊本県水俣市陣内一丁目1番1号

Copyright (C) 2012 Minamata City. All Rights Reserved.

音声読み上げ

環境モデル都市

環境モデル都市水俣が目指すもの

水俣市は、1992年（平成4年）に日本で初めての「環境モデル都市づくり宣言」を行い、ごみの高度分別や水俣独自の環境ISO制度など、市民と協働で様々な環境政策に取り組んできました。2008年（平成20年）7月、これまでの実績と今後の取り組みの提案が評価され、国の環境モデル都市（認定時全国13都市、現在【2015年（平成27年）3月末】全国23都市）に認定されました。

この度、環境モデル都市の目標や今後5年間の具体的な取り組みをまとめた行動計画（アクションプラン）を策定しました。今後、このアクションプランに基づき、世界的な問題である地球温暖化問題に先導的に取り組む自治体として、持続可能な低炭素社会の実現をめざします。

【現状と削減目標】

市の温室効果ガス排出量は、基準年2005年（平成17年）に約23万9千トン。削減目標は、2020年（平成32年）までに32%、2050年（平成62年）には50%の削減をめざして取り組みます。

【取り組み方針】

次の4分野での取り組みを同時に総合的に進めていきます。

A 環境配慮型暮らしの実践（主に民生部門での取り組み）

市民版の環境ISOやごみ分別など、省エネ・省資源、リサイクルを実践し、環境に配慮したライフスタイルを日常化し、クリーンなエネルギーの使用に転換していきます。

B 環境にこだわった産業づくり（主に産業部門での取り組み）

産業分野における省エネ・省資源、リサイクルを推進し、クリーンなエネルギーの使用に転換していきます。また、市内の先進的な環境技術を活かした新たな産業を導入・実践します。

C 自然と共生する環境保全型都市づくり（主に自然環境保全分野での取り組み）

本市の豊かな自然を守りながら、森林を育て街中の公園や緑地の整備を図るとともに、再生可能エネルギーの積極的な活用や環境と共生する住まいづくりを進めます。

D 環境学習都市づくり（主に環境意識を啓発する取り組み）

悲惨な公害をどこの地域でも発生させないために水俣病の教訓を発信し、本市の環境モデル都



市づくりを全世界へ波及させるための取組を実践していくことで、上記の取組の実践行動を促進します。

- ➔ [環境モデル都市パンフレット](#) (PDF 726KB)
- ➔ [環境モデル都市提案書 \(水俣市\)](#) (PDF 451KB)
- ➔ [行動計画概要](#) (PDF 733KB)
- ➔ [報道発表資料 \(水俣市\)](#) (PDF 10KB)
- ➔ [市長コメント \(環境モデル都市認定にあたり\)](#) (PDF 10KB)


アクションプラン (第1期) 2009年 (平成21年) ~2013年 (平成25年)

- ➔ [アクションプラン \(第1期\) 表紙・目次](#) (PDF 49KB)
- ➔ [アクションプラン \(第1期\) 全体構想](#) (PDF 204KB)
- ➔ [アクションプラン \(第1期\) 取組内容](#) (PDF 278KB)
- ➔ [アクションプラン \(第1期\) スケジュール](#) (PDF 97KB)
- ➔ [アクションプラン \(第1期\) 取組体制等](#) (PDF 44KB)
- ➔ [アクションプラン \(第1期\) 資料 \(CO2排出量、削減見込みの推計等\)](#) (PDF 138KB)
- ➔ [アクションプラン \(第1期\) 取組内容詳細 \(前編\)](#) (PDF 362KB)
- ➔ [アクションプラン \(第1期\) 取組内容詳細 \(後編\)](#) (PDF 236KB)

アクションプラン (第2期) 2014年 (平成26年) ~2019年 (平成30年)

- ➔ [アクションプラン \(第2期\) 表紙・目次](#) (PDF 93KB)
- ➔ [アクションプラン \(第2期\) 全体構想](#) (PDF 460KB)
- ➔ [アクションプラン \(第2期\) 取組内容](#) (PDF 273KB)
- ➔ [アクションプラン \(第2期\) スケジュール](#) (PDF 124KB)
- ➔ [アクションプラン \(第2期\) 取組体制等](#) (PDF 101KB)
- ➔ [アクションプラン \(第2期\) 資料 \(CO2排出量、削減見込みの推計等\)](#) (PDF 249KB)
- ➔ [アクションプラン \(第2期\) 取組内容詳細](#) (PDF 478KB)

[▲このページの先頭へ](#)

 お問い合わせ先

水俣市役所 環境課
電話番号 0966-61-1612

掲載事項・業務内容に関するお問い合わせは、各担当課へお尋ねください。
水俣市役所 〒867-8555 熊本県水俣市陣内一丁目1番1号

Copyright (C) 2012 Minamata City. All Rights Reserved.

ゼロ・ウェイストのまちづくり 水俣宣言 水俣市

1. 前文

私たち水俣市民は、水俣の豊かな自然と文化に育まれてきました。

雲がたなびく矢筈岳、愛林の里、冷水の森、清らかな湯出川、水俣川の流れ、不知火の海に恋路島
そんな豊かな暮らしの中で、私たちは水俣病の経験をしました。

水俣病は、工場から海へすてられた水銀が食べ物のつながりを通して起きた病気です。

たくさんのいのちが傷つき、失われ、人を取りまく社会も壊れました。

「自然はすべてつながっている。自然にすてたものはいつか戻ってくる」

水俣病は「自然と共に生きる」ということの意味を私たちに教えています。

私たちが考える「ゼロ・ウェイスト」とは、

資源やエネルギーの消費を “できるだけ減らす”

暮らしの中で使うものをムダなく “できるだけ回す”

自然にすてなければならないごみを “限りなく減らす”

そして、そのための暮らしやしきみを “みんなでつくり、支えていく”

ということです。

世界中に「ゼロ・ウェイスト宣言」をするまちが広がりつつあるのは、

「将来にわたって誰もが安心して暮らせる社会をつくっていきたい」という思いを、

世界中の人たちみんなが持っているからです。

それは、私たちが1992年から進めてきた「環境モデル都市づくり」に込めた思いと同じです。

私たちの思いが向かう目標のために、そして同じ思いを持つ仲間どうしがつながるために、

私たち水俣市民は「ゼロ・ウェイストのまちづくり水俣宣言」をします。

2. 水俣がめざすゼロ・ウェイストのすがた

私たち水俣市民は、「水俣がめざすゼロ・ウェイストのすがた」を掲げ、水俣で生きる者としてゼロ・ウェイストの取り組みを進めます。

○水俣病の教訓を生かすゼロ・ウェイスト

私たちが水俣病から学んだこと、その1つが、廃棄物でいのちの基盤をこわしてはならないということでした。ゼロ・ウェイストの取り組みを進めることは、水俣病の教訓を生かすことにつながっています。

○処分場反対運動からのゼロ・ウェイスト

水俣市民はいのちと水を守るために、水俣に計画された産業廃棄物最終処分場の建設に反対しました。「埋立に頼らない」という選択は、最終処分場建設を止めた私たちにとってとるべき1つの方向性です。

○高度分別回収の経験を生かすゼロ・ウェイスト

私たちは1993年から、家庭ごみの高度分別収集を地域の力で支えながら続けてきました。この経験で得たリサイクルの習慣と意識を、リユース（再利用）・リデュース（発生抑制）へと発展させ、ゼロ・ウェイストの実現をめざします。

○環境モデル都市づくり宣言（1992年）の理念を大切にするゼロ・ウェイスト

1992年に水俣市が行った「環境モデル都市づくり宣言」は、水俣病の教訓から生態系へと思いを寄せ、文明社会のあり方を問うものでした。そしてこの宣言を機に、さまざまな取り組みを行ってきました。

私たちはこの理念と実践を大切にして、ゼロ・ウェイストを進めていきます。

○環境モデル都市（2008年）のゼロ・ウェイスト

水俣は、2008年に政府から認められた「環境モデル都市」の1つとして、ゼロ・ウェイストの取り組みを通して低炭素社会をめざし、他の環境モデル都市にもゼロ・ウェイストを広めていきます。

○私・私の家・私の地区のゼロ・ウェイスト

ゼロ・ウェイストはすでに私たちの暮らしの中にあります。私が買い物でマイバッグを使うこと、家での洗濯に石けんを使うこと、地域でのステーション回収…

ごみになるものを家に持ち込まず、環境に良いものを選び、ものを長く使う私たちの行動と、ゼロ・ウェイストとのつながりをいつも意識します。

○実現にこだわるゼロ・ウェイスト

ゼロ・ウェイストの実現に向けて、市民・事業者・行政協働のもとで、裏付けのある目標設定をし、具体的な行動計画をつくります。

さらに、現状を評価しながら、常に目標の確認と再検討をし、ゼロ・ウェイストを確実に実現する方法の検討を続けます。

○継続・持続するゼロ・ウェイスト

ゼロ・ウェイスト達成のために、議論を継続し、そのための場を確保し続けます。

また、経済的な持続可能性に留意し、達成後も必要な取り組みを続けながら、ゼロ・ウェイストを持続させます。

○世界の自治体のモデルとなるゼロ・ウェイスト

水俣は、ゼロ・ウェイストの達成とその過程も含めて、他のモデルとなる「ゼロ・ウェイストモデル都市」を目指し、そのための情報発信をしていきます。

○日本中・世界中の自治体と連携するゼロ・ウェイスト

日本中・世界中のゼロ・ウェイスト宣言自治体どうしで、実質的な意義のある連携を実現し、そのしくみを持続します。

○広がっていくゼロ・ウェイスト

ゼロ・ウェイスト宣言都市の活動を「点」から「面」へ展開させ、ゼロ・ウェイストの動きを日本全体・世界全体へ広げていきます。また、そのためのリーダーシップを発揮します。

3. ゼロ・ウェイストのまちづくり水俣宣言

私たち水俣市民は、私たちの日常をあらためて見直して、自然の恵みを大切にし、限りある資源やエネルギーを最大限有効に利用する暮らしとしくみづくりに努めます。

私たち水俣市民は、大切なふるさと水俣の自然をけがさず、全ての生き物の命と健康を脅かさないため、2026年までに、ごみ処理を焼却や埋立に頼らないまちづくりのしくみをつくります。

私たち水俣市民は、1992年「環境モデル都市づくり宣言」以来、私たちが続けてきた取り組みと努力に誇りを持ち、この経験と成果を生かしてゼロ・ウェイストを進めます。

私たち水俣市民は、ゼロ・ウェイストの取り組みを進めるために、市民・事業者・行政が必要な情報を共有し、継続的に話し合う場を設け、常に目標・行動・成果を見直しながら、協働で取り組みます。

私たち水俣市民は、志を同じくする日本中・世界中の人々や自治体と手をつなぎ、連携して問題解決を図り、日本と世界の環境をよくするゼロ・ウェイストの仲間づくりを進めます。

平成21年11月22日

熊本県水俣市